

クリントンを選んだ米国民の「ミスマッチ」

「穏健」政権で野心的改革は望み薄

九二年米大統領選は「奇妙な」選挙戦だった。変化、を求めた国民が、穏健派、クリントンを大統領に押し上げたのだ。だが、そのクリントンに何ができるだろうか。



クリントン政権はきわめつけの穏健政権になりそうである

九二年米大統領選は終わった。候補者のあいだを運命が行き来するこのマラソン競走は、最終的に勝利したクリントンの言葉を借りれば、「奇妙な」選挙戦だった。最終結果は——それを生み出した奇妙な過程にふさわしく——見ものでもあれば、曖昧模糊としたものでもあった。

一方では、変化を求めるはつきりした選挙民の意思が表明されたのに、それをもたらしたのは有権者のかすかな相対多数でしかなかった。民主党内の再編成が見られたけれども、その得票基盤に識別可能な変化は見られなかった。議会とホワイトハウスの分裂という二重統治に終止符が打たれたが、それも過去八〇年間でも最も有力な「第三党運動」の挑

戦のただ中で起こったことだ。決定的行動をとるといふ公約が行われたが、この公約は過去の慣行の「継続の義務」と現在の厳しい制約とに、がんにがらに縛られている。

そして、勝利者として主役をつとめる男は、米国の体制側(エスタブリッシュメント)の事実上すべての部分とだけでなく、その対立者とも密接なつながりをもつ「財界寄り」の「中道派」の民主党員であり、かつてニューディール型の再分配論者の要求に反対した記録をもつにもかかわらず、いまやアメリカ左翼にとってフランクリン・ルーズベルト以来最良の希望の星とみなされているというわけだ。

こうした奇妙な組み合わせを政治的にどう理解すればよいのだろうか。

定的ではないように見える。彼が五〇％以上を獲得した州はわずか三州でしかない。一億人の有権者のうち、クリントンの得票は一九八八年のブッシュに対するデュカキスの決定的敗北時に比べて三〇〇万票増えたにすぎないのである。クリントンは彼の「穏健」戦略の成功を誇っているが、彼の本来のターゲットである無所属層、青年、婦人、白人および「レーガン・デモクラット」(民主党・レーガン支持派)の中核をなす白人カトリックのあいだでは、現実にはデュカキスより成績はよくない。

この三者の競争で、クリントンに対する大衆的支持は、主として伝統的民主党支持者であった。「サービスの供給は増やすが、租税のコストは減らす政府」を選ぶか、それとも「租税のコストも減らす、サービス

の供給も減らす政府」を選ぶかと尋ねられたとき、ほとんどのペロリ支持者とブッシュ支持者は小さな政府を選択したが、クリントン支持者だけは、政府の役割拡大を支持した。「この選挙を左側から勝ちとうとは思わない」と言っていた男が、事実としては左側から勝利したのである。

もさらにもっと印象的だったのは、実にブッシュの崩壊のほうだった。ブッシュは自称穏健派のあいだで二五、共和支持者のあいだで二二三、自称保守派のあいだで一、九、失った。彼をこの崩壊に追いやったものは、ほかでもない、経済だ。投票者の四三％が、投票を決定するうえでの最大の問題は「経済と雇用」だったとしており、そう答えた人は三対一以上の比率でブッシュに反対した。

選挙民の四分の一は、過去四年間を通して家計の財政状態を改善させたが、これらの人々は六〇対二五の割合でクリントンではなくブッシュを支持した。経済的には「ほぼ変わらず」とみなした五分の二の有権者の票はブッシュとクリントンに均等に割れた。経済面で低落したと訴えた三分の一の有権者は六〇対一三の圧倒的割合でクリントンを選んだ。

そこへ、ロス・ペロリが立候補した。党の制約から離れた億万長者のポピュリスト、民主的改革を公約する愛想のよい独裁者として、ペロリ現象には真剣に受け止めるべきものがある。ペロリは、経済の国際化によって脅かされたアメリカの生活水準と、金融権益によって買収された

か。今年の大統領選で、正確には何が起こり、何が起こらなかったのか。米国の公共政策実施のためにビル・クリントンが選出されたことの意味は何なのか。さらには、クリントン新政権内部の多様な要素、およびすでに一九九六年以降をめざして競り合いが始まっているさまざまな方針と計画をめぐって、不安定、逆転あるいは前進があるとすれば、その源泉はどこに求めるべきか。

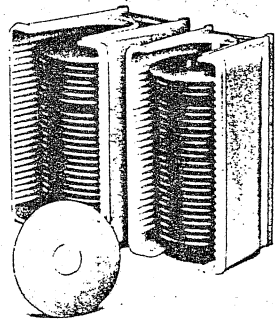
何が起き何が起きなかったか

クリントン勝利の初期の騒音の中では、彼の選出は、真に包括的な民主党の勝利と、民主党の伝統的集票基盤から一歩身を隔てておこうとする彼の「穏健」戦略の正しさを示唆

七月に選挙戦から一時撤退する前には、ペロリは有権者の四二％もの支持を得ていた。投票日当日には、彼は無所属の投票者の約三分の一、年収七万五〇〇〇以上の階層を除く所得階層の五分の一、大卒者を含む高い教育を受けた人々の五分の一の支持を獲得した。ペロリの立候補はこの路線にそって大衆を動員する将来のもっと一致した行動のための地位を占めた一例としてとらえれば最もよく理解されるのである。

クリントン勝利の意味

得票率でクリントンがかかるように勝利したという事実は、当然ながら彼の政権の課題設定に政治的制約を



素顔で
お会いできなくて
残念です。

ハードディスクの表面は薄く、膜の層で覆われていますが、この膜の材料が、東ソーの「ペーパー」です。この「ペーパー」は、原料からの一貫した品質管理と高度な成形加工技術による製造技術の結晶。オリエントには定評があり、東ソーがわが国のシテとははるかに優れています。

ここにも、東ソーの技術。

明日のしあわせを化学する
東ソー株式会社

東京都港区赤坂1丁目7番7号 1107 ☎03(3505)4531

●オレフィン樹脂 ●ポリオレフィン樹脂 ●化学繊維
●塩化ビニル樹脂 ●ポリ塩化ビニル樹脂 ●塩化ゴム
●塩化ゴム ●塩化ゴム ●塩化ゴム ●塩化ゴム
●塩化ゴム ●塩化ゴム ●塩化ゴム ●塩化ゴム

九二年選挙戦の「虚しい騒ぎ」(マクベス)の一切にもかかわらず、クリントン政権はきわめつけの「稳健」政権になりそうである。テキサス州選出上院議員ロイド・ベンツェンを財務長官に指名したことは、その最も新しい信号である。国内的には、合意済みの長期赤字削減の政策パッケージの優先順位を変更させ、何らかのコンセンサスが得られ

アメリカ再構築は可能か

シアル・セキリティーやメディアエアといった主要な「資格給付」プログラムの骨抜きもない形で、構成するならば、国内の新しいイニシアチブのための支出は、まことに控えめなものとなることは事実上保証済みだということになる。

緊縮財政の強化、政治過程の「浄化」努力の大宣伝、やっかいな社会問題の中立化——中絶の合法性を維持しつつ中絶の選択に際して「両親のガイダンス」を進めるとか、軍事予算の若干を国内警察力の増強に転移させるとか——穏健だが素早い措置によって、ペロー派の支持を取りつけようとするのであろう。

現在の米国の公的生活を規定している富と政治力のおびただしい不平等の矯正、および軍事力への依存度を低下させながら、しかも資本移動に抗して米国の生活水準を擁護する決然とした国際的立場の確立である。

このように構図に欠けているのは、クリントン勝利のために努力した人々の多くが望んでいるのもっと野心的な改革、つまり国内投資の本格的な計画を保障するのに必要な軍事支出の大幅な削減と累進課税の急増、現在の米国の公的生活を規定している富と政治力のおびただしい不平等の矯正、および軍事力への依存度を低下させながら、しかも資本移動に抗して米国の生活水準を擁護する決然とした国際的立場の確立である。

この戦略が意味するものは何か。通商問題での妥協はおよそありそうにない。クリントンを支持するエリート層は、近年民主党の大統領選出馬に裏書を与えてきた多国籍企業系の支持基盤に強く傾斜している。そこで最もありうる動きは、例えば

緊縮財政の強化、政治過程の「浄化」努力の大宣伝、やっかいな社会問題の中立化——中絶の合法性を維持しつつ中絶の選択に際して「両親のガイダンス」を進めるとか、軍事予算の若干を国内警察力の増強に転移させるとか——穏健だが素早い措置によって、ペロー派の支持を取りつけようとするのであろう。

このように構図に欠けているのは、クリントン勝利のために努力した人々の多くが望んでいるのもっと野心的な改革、つまり国内投資の本格的な計画を保障するのに必要な軍事支出の大幅な削減と累進課税の急増、現在の米国の公的生活を規定している富と政治力のおびただしい不平等の矯正、および軍事力への依存度を低下させながら、しかも資本移動に抗して米国の生活水準を擁護する決然とした国際的立場の確立である。

このように構図に欠けているのは、クリントン勝利のために努力した人々の多くが望んでいるのもっと野心的な改革、つまり国内投資の本格的な計画を保障するのに必要な軍事支出の大幅な削減と累進課税の急増、現在の米国の公的生活を規定している富と政治力のおびただしい不平等の矯正、および軍事力への依存度を低下させながら、しかも資本移動に抗して米国の生活水準を擁護する決然とした国際的立場の確立である。

この戦略が意味するものは何か。通商問題での妥協はおよそありそうにない。クリントンを支持するエリート層は、近年民主党の大統領選出馬に裏書を与えてきた多国籍企業系の支持基盤に強く傾斜している。そこで最もありうる動きは、例えば

緊縮財政の強化、政治過程の「浄化」努力の大宣伝、やっかいな社会問題の中立化——中絶の合法性を維持しつつ中絶の選択に際して「両親のガイダンス」を進めるとか、軍事予算の若干を国内警察力の増強に転移させるとか——穏健だが素早い措置によって、ペロー派の支持を取りつけようとするのであろう。

このように構図に欠けているのは、クリントン勝利のために努力した人々の多くが望んでいるのもっと野心的な改革、つまり国内投資の本格的な計画を保障するのに必要な軍事支出の大幅な削減と累進課税の急増、現在の米国の公的生活を規定している富と政治力のおびただしい不平等の矯正、および軍事力への依存度を低下させながら、しかも資本移動に抗して米国の生活水準を擁護する決然とした国際的立場の確立である。

このように構図に欠けているのは、クリントン勝利のために努力した人々の多くが望んでいるのもっと野心的な改革、つまり国内投資の本格的な計画を保障するのに必要な軍事支出の大幅な削減と累進課税の急増、現在の米国の公的生活を規定している富と政治力のおびただしい不平等の矯正、および軍事力への依存度を低下させながら、しかも資本移動に抗して米国の生活水準を擁護する決然とした国際的立場の確立である。

この戦略が意味するものは何か。通商問題での妥協はおよそありそうにない。クリントンを支持するエリート層は、近年民主党の大統領選出馬に裏書を与えてきた多国籍企業系の支持基盤に強く傾斜している。そこで最もありうる動きは、例えば

緊縮財政の強化、政治過程の「浄化」努力の大宣伝、やっかいな社会問題の中立化——中絶の合法性を維持しつつ中絶の選択に際して「両親のガイダンス」を進めるとか、軍事予算の若干を国内警察力の増強に転移させるとか——穏健だが素早い措置によって、ペロー派の支持を取りつけようとするのであろう。

このように構図に欠けているのは、クリントン勝利のために努力した人々の多くが望んでいるのもっと野心的な改革、つまり国内投資の本格的な計画を保障するのに必要な軍事支出の大幅な削減と累進課税の急増、現在の米国の公的生活を規定している富と政治力のおびただしい不平等の矯正、および軍事力への依存度を低下させながら、しかも資本移動に抗して米国の生活水準を擁護する決然とした国際的立場の確立である。

このように構図に欠けているのは、クリントン勝利のために努力した人々の多くが望んでいるのもっと野心的な改革、つまり国内投資の本格的な計画を保障するのに必要な軍事支出の大幅な削減と累進課税の急増、現在の米国の公的生活を規定している富と政治力のおびただしい不平等の矯正、および軍事力への依存度を低下させながら、しかも資本移動に抗して米国の生活水準を擁護する決然とした国際的立場の確立である。

この戦略が意味するものは何か。通商問題での妥協はおよそありそうにない。クリントンを支持するエリート層は、近年民主党の大統領選出馬に裏書を与えてきた多国籍企業系の支持基盤に強く傾斜している。そこで最もありうる動きは、例えば

緊縮財政の強化、政治過程の「浄化」努力の大宣伝、やっかいな社会問題の中立化——中絶の合法性を維持しつつ中絶の選択に際して「両親のガイダンス」を進めるとか、軍事予算の若干を国内警察力の増強に転移させるとか——穏健だが素早い措置によって、ペロー派の支持を取りつけようとするのであろう。

このように構図に欠けているのは、クリントン勝利のために努力した人々の多くが望んでいるのもっと野心的な改革、つまり国内投資の本格的な計画を保障するのに必要な軍事支出の大幅な削減と累進課税の急増、現在の米国の公的生活を規定している富と政治力のおびただしい不平等の矯正、および軍事力への依存度を低下させながら、しかも資本移動に抗して米国の生活水準を擁護する決然とした国際的立場の確立である。

このように構図に欠けているのは、クリントン勝利のために努力した人々の多くが望んでいるのもっと野心的な改革、つまり国内投資の本格的な計画を保障するのに必要な軍事支出の大幅な削減と累進課税の急増、現在の米国の公的生活を規定している富と政治力のおびただしい不平等の矯正、および軍事力への依存度を低下させながら、しかも資本移動に抗して米国の生活水準を擁護する決然とした国際的立場の確立である。